

「ひみ型家庭学習の手引き “きときとひみっ子学びのステップアップ”」

－ その活用のために －

H21.3

氷見市教育研究所 学力向上研究委員会

「ひみ型」とは

- 氷見市の子どもの実態や傾向に合わせ、よさを生かし、課題を改善していく。
 - ・よさ…何事にも真面目に取り組む子どもが多い。
 - ・課題…家庭学習の時間が短い。将来の夢や目標をもっている子どもが少ない。
- 家庭や地域の教育力を生かす。
 - ・家庭は学校に対する信頼度が高い。
 - ・地域が学校に協力的である。
- 日ごろ子どもに接している先生が感じている課題に対応する。
 - ・学習への意欲や自学自習する力、個に応じた指導などの課題に示唆を与える。
- 家庭学習の形を押しつけるのではなく、根源である心の面から働きかける。
 - ・自己肯定感を土台とし、自主的に学習したくなる方法を探った。

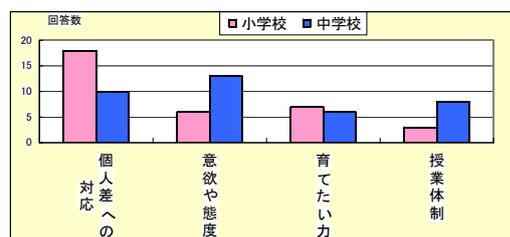
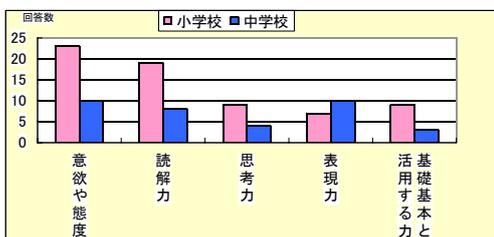
以上のことを踏まえ、「親しみやすく、わかりやすく」を合い言葉に作成しました。

○全国学力・学習状況調査の結果を生かして

今年度、2度目の「全国学力・学習状況調査」が実施されました。氷見市では、この調査に関して全小・中学校にアンケートを取りました。その結果(下のグラフ参照)、学力を向上させるには、小・中学校ともに「意欲や態度」が大切であること、また、多くの先生が「家庭学習の習慣化」や「個人差への対応」に課題をもっていることが分かりました。これらの浮き彫りになった課題を基にして、今まで以上に、学校と家庭とが連携を図りながら、子どもたちの学びを支えていくことが大切と考え、「ひみ型家庭学習の手引き“きときとひみっ子学びのステップアップ”」を作成しました。また、学級懇談会や学級便り等でも話題にさせていただければと思います。

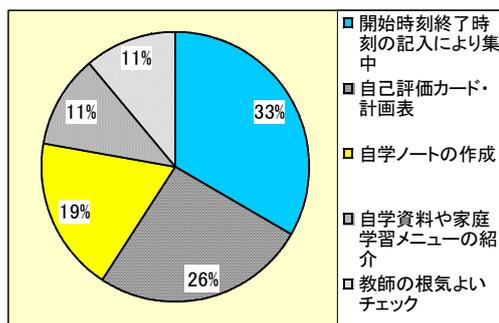
「全国学力・学習状況調査」に関するアンケート集計結果から

- 1 学力を向上させるにはどのような力が必要か？ 2 学習面で日々の授業で困っていることは何か？

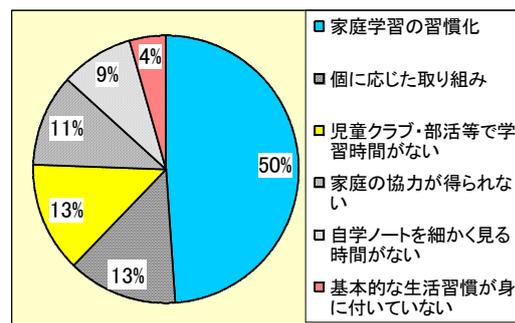


- 3 家庭学習の取り組みについて(小・中学校合わせて)

(1)うまくいっていること



(2)困っていること



○つきたい力を意識して

日々、氷見市の子どもたちに直に接している先生へのアンケート結果を生かし、加えて、学力向上に関する様々な講演会や文献等から、つきたい力を洗い出しました。その結果、何よりもまず「自己肯定感」をはぐくむことが大切であると考えました。そしてつきたい力を意識して、子どもの実態に合わせてステップアップしていけるように構成しました。

一番大切なこと...それは、自己肯定感

自分が大好きだ 自分っていいな

これなくして学力向上は望めません 自己肯定感は、すべての学習活動の土台です

認められ、ほめられることは、子どもにとって一番のプレゼント!

家庭学習の習慣 本が好き コミュニケーションの力 考える力

ちょっとした工夫で、子どものやる気はくくんアップ!

自己肯定感をはぐくむ 3つのポイント

受容
子どもを心から尊重し、受け入れましょう
子どものやる気を引き出す (愛)メッセージ
●ありがとう
●(私は)うれしいわ
●(私は)とても助かるわ...
主語を自分(=愛)にして伝えましょう。
注意! NG表現 (YOUメッセージ)
▲(あなたは)早くしなさい。
▲(あなたは)何で言ったらわかるの。
▲(あなたは) (人と比べて) たら〜なのよ。
なぜYOUメッセージがダメなのでしょう。
●相手を批判し、いやな気持ちにさせます。

傾聴
子どもの言葉に耳を傾けましょう
「あなたは、大切な存在よ。」と伝えることとなります。
●普段の何気ない会話で子どもの興味・関心をつかみましょう。

共感
子どもに寄り添いましょう
小さな達成感や成功体験を積み重ねましょう。
●どんな小さなことでも、できていることや変化を具体的にほめましょう。
一度つかんだ**自信**は、どんどん広がり、**やる気のもと**を育てます。

「氷見の教育基本方針」では、「夢や希望に向かって自分らしく」を挙げています。夢や目標をもつと、学習に取り組みの意欲が高まります。
●子どもと夢を語り合ってみましょう。「10年後のぼく・私」
●子どもの事に寄り添いましょう。
○○に興味があるのね。お母さんは、小さいころ
すてきたね。それは、○○になりたかったのよ。
どんな仕事なの? それでね...
...親も自分の心を開くことが大切です。

★ 育てたい力のキーワード ★

すべての土台となる自己肯定感をはぐくむために大切なポイント

受容

共感

傾聴

「家庭学習の習慣」「本が好き」「コミュニケーションの力」「考える力」の4つの力を意識していますが、育てたい力は、この他にも、もっとあるはずです。

土壌(自己肯定感)を豊かにはぐくむことにより、子どもの学習意欲が高まって、多くの花(力)を咲かせてほしいと願っています。

“学びのステップアップ”(冊子)の4ページからは、一つ一つの力について、それぞれステップアップしていけるようにしました。

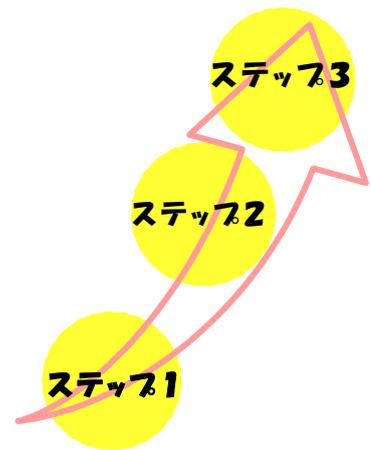


○ステップアップで個人差に対応 – 今すぐにも始めよう –

それぞれのページが大きく3つのステップになっています。

- ★今日からでもOK! 身に付けよう家庭学習の習慣!
- ★子どもが本好きになる方法
- ★きこう!話そう!きたえよう! コミュニケーションの力
- ★日常生活でのぼそう 考える力

どの学年でどれをとということではなく、子どもの実態に合わせてどの部分からでも取り組めるようになっていきます。繰り返し、行きつ戻りつしながら少しずつステップアップしていくよう願っています。



○親しみやすく、読みやすく

どのページも氷見らしいイラスト「学ブリ君」が案内します。少しでも保護者の方々や子どもたちに親しみをもって読んでいただくために、イラストや4コマ漫画等を取り入れました。イラストを見て、楽しくかわり方のコツをつかんでいただけたら幸いです。右のページに掲載した漫画から日ごろの子どもへの対応を見直してみましょう。



○保護者の方々へのメッセージを

お父さん、お母さんへのメッセージを最終ページに載せました。先に県から出されました「家庭学習のすすめ」(小学校)や「家庭学習へのサポート」(中学校)では、まず、親がモデルを示すことや親の生き方を伝えることを大切にしています。日常のちょっとした働きかけが、学力向上につながっていくというメッセージを込め、チェック形式を用いて親自身が自らを振り返り、見つめられるようにしました。

○きときとひみっ子のために

各学校では既に子どもたちに様々な工夫をして家庭学習に取り組むよう働きかけていると思います。このパンフレットでは、家庭学習の内容面については、詳しくふれていません。各学校の取り組み、先生の思いや持ち味を大切にしてほしいと願っているからです。家庭学習の習慣がより定着していくよう、各学校の取り組みと併せて活用していただければ幸いです。きときとひみっ子のために…。

★この漫画から受容、共感、傾聴について考えてみましょう。

きかせて！ あなたの思い



子どもの思いや言葉を先取りして言ってしまう母。こんなことよくありませんか？

まず子どもを受け入れ、子どもの話に耳を傾け、子どものよいところを見つけていく…そんな姿勢が大切です。

オオカミの気持ちになり「赤ずきんちゃんを食べておいしそう」と言っているが、これをも認める姿勢が大切です。まずは、子どもに寄り添いましょう。

イラスト・漫画：堀田 勝(氷見立西部中学校 教諭)